

☆恋愛力アップのアイテム 54個☆

【誕生石】

ガーネット(石榴石):意味・効果:実りの象徴、真実、友愛、忠実、成果、勝利



1月の誕生石。中世ヨーロッパ時代は王家の紋章にも使用された。コツコツと結果をだすために頑張る力を与えてくれる石でデトックス効果も。水晶以外との組み合わせは機嫌を損ねるので合わせるなら水晶と♪

アメシスト:意味・効果:真実の愛、潜在能力や魅力を引き出す、魔よけ



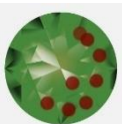
2月の誕生石。愛と慈しみの心を芽生えさせ、愛の守護石とも呼ばれる。恋を引き寄せると同時に高まりすぎた愛を穏やかにする力もあり。霊的パワーが強いのでよく浄化する(太陽光は退色するのでクリスタルや月光、セージなどで浄化)。

赤サンゴ:出産妊娠のお守り/女性性と男性性のバランス/生命力アップ/



3月の誕生石。深海に生息し、樹枝状に成長する。石灰質で汗や果汁に弱い。宝石としてのサンゴ(とくに濃い赤サンゴ)は古くから珍重され、密輸や乱獲の問題もあるほど。ギリシャ神話では英雄ペルセウスが怪物メデューサの首を切ったとき、溢れた血からペガサスが、地中海にしたたり落ちた血のしずくからサンゴが生まれたとされ、ローマ時代から護符として愛用された。金星と月に結びついた宝石ともいわれる。

ブラッドストーン:意味・効果:妊娠、繁栄、血液のパワーアップ、魔よけ



3月(11月)の誕生石。濃緑色に赤い斑点がある石。血液との関係が深く血液系の病気全般に良いとされる。また、生命力や生命の誕生とのかかわりが深い。深くイエスが磔にされたときにイエスの血がしみ込んで出来た石ともいわれる。安産のお守りとしても。

アクアマリン:意味効果:幸せの結婚、調和、子宝に恵まれる



3月の誕生石。アクアマリンという名はラテン語で「水」を意味する「アクア」、「海」を意味する「マリノ」から由来。身に着けると水のようにやさしく柔軟で慈悲にあふれ、人にも優しくできる石。結婚を控えた人への贈り物にも。

ダイヤモンド:意味・効果:永遠の絆、清浄無垢、エネルギーの増大、精神の明晰性



4月の誕生石。エンゲージリングといえばダイヤモンド。地球上でもっとも硬い石とされます。カラーごとに特徴が異なり、ピンクダイヤは喜び、ブラックダイヤは厄よけのパワーが強い。

エメラルド:意味効果:恋愛成就、幸せな結婚、叡智、絆、調和による癒し、魔除け



5月の誕生石。世界4大宝石の一つ。古代エジプトでは繁殖と生命のシンボルとされ、クセオパトラも愛した。中世ヨーロッパの錬金術師はヘルメスの石と考え、治癒の石ともされた。内部に傷が多く、また鉱山の多くが海底にあったため気泡を含むものもある。退色を避けるため太陽光以外での浄化を。愛と癒しにあふれた石。第4チャクラに関わりが深いです♪

ムーンストーン:意味効果:愛する人との出会いと恋愛成就、結婚。永遠の若さ。恋の予感。



女性性、母性、靈感アップ

6月の誕生石。月の光が固まってできたと信じられていた。月は女性性の象徴であり、身に着けると心の揺れを整え、優しくおおらかな愛に満たされると言われている。

琥珀(アンバー):意味効果:精神の安定、大きな愛、繁栄長寿、金運アップ、靈感アップ、気



管支系疾患の改善。

6月の誕生石。約3千年前の樹脂が化石化したもので、摩擦すると電気を発し温めると溶ける性質がある。虫入りの琥珀はパワーが強いとされる。治療薬として使用されていたことも。イギリスでは結婚10年目に琥珀を贈る習慣がある。黄色は希望と幸福感を与えてくれるので、元気や自信、円滑なコミュニケーションを図りたい時に！

ルビー:意味・効果:愛情、情熱、華やかさ、勝利やカリスマ性を呼ぶ



7月の誕生石で四大宝石のひとつ。炎と戦いの軍神マルスが宿る守護の石、古代エジプトでは王の威厳を表す石とされてきた。ルビーはラテン語の赤に由来し、戦いや情熱とともに豊かさや多産を象徴してきた。また心臓を強化して血液の循環をよくする作用があるとされる。内側から女性性やパワーを引き出したい時、モチパワーアップしたい時に。

インカローズ(ロードクワサイト):意味効果:ソウルメイトを引き寄せる、女性ホルモンバラ



ンスを整える、恋愛のトラウマから脱却する、可愛さアップ。

7月の誕生石。「バラ色の人生」「情熱のバラ」とも言われるパワフルで情熱的な石。インカ帝国が栄えたというアルゼンチン・アンデス山脈から主に産出される。ローズクォーツよりも強力なので使い分けて♪浄化は太陽光以外の方法で(退色するため)！

サードオニキス(赤天眼石):意味・効果:夫婦の幸福、結婚運、魔よけ



8月の誕生石。カルセドニー(アゲート)のうち赤系の縞模様が見られるものをいう。旧約聖書など古くから歴史書に名前が出てくる石であり、カメオ(浮彫)やインタリオ(沈み彫)にも使用された。:片思いやパートナーとの仲を長続きさせたい方のお守りとなってくれる石は愛のお守りといえます。8月の誕生石であることからしし座おとめ座との関連が強い。

ペリドット:意味・効果:夫婦の幸福、和合



8月の誕生石。予期しない鮮烈な愛をもたらす知らかがあるともいわれる。明るさや自分を尊重する大切さ、喜びの感覚を教えてくれる。身近な人の関係を良くする力もあり。

サファイア:意味・効果:慈愛、誠実、集中力、目的貫徹、カリスマ性



9月の誕生石。心を安定させ、真実の愛を伝えて強い絆を作る人との結びつきを強めるだけでなく、直観力をアップさせ組織や経営の基礎を固めてくれる経営者にもよい石。様々な色があるがロイヤルブルー、コーンフラワーブルーなど深い青が最高とされる。赤いサファイヤはルビー。硬度が高く工業用にも。

トルマリン(電気石):意味・効果:すべてを満たす、以心伝心



10月の誕生石。電気石とも呼ばれ、プラスとマイナスの電極を持ち、摩擦するとマイナスイオンを発生すると言われる。そのためイライラを収めて心のバランスをとる、健康を増進する、電磁波を防ぐ、人気運を上げる、金運を呼び効果があるとされる。古代のシャーマンやネイティブアメリカンも儀式に使っていた。携帯やパソコンをよく使う方にも。

ローズクォーツ:意味効果:あらゆる愛の石。平和。女性ホルモンの活性化、魅力アップ。



10月の誕生石。とくに恋愛に効果のある石で、愛の石の中では代表的。自分を許し慈しむ力があるため、トラウマを癒したい人やネガティブになりやすい人にも◎。自分を愛で満たすことにより、周囲や愛する人にも愛を注げるようになる。透明度の高いマダガスカルローズクォーツが最強とされる。

シトリン:意味効果:豊かさ、金運、積極性、創造性、夢の実現、気力回復、自信、安定



11月の誕生石。フランス語の citron(レモン)が名前の由来。第2チャクラを活性化することで心身を活性化し、現実に関わり夢を達成する力が生まれるとされる。内面からの若さと健康を保つ効果や視神経・胸腺の不調の改善にもよいとされる。

ターコイズ:意味効果:守護、勇気、強い意思、絆



12月の誕生石。古代エジプト初期やインカ帝国の時代から王墓や装飾品に使われ、人類との関わりが深い。ネイティブアメリカンは父から息子へ譲渡される神聖な石。とても明るいエネルギーで持ち主を危険から守り幸福を与えるとされる。視力や肝機能アップ、第6チャクラに効果的な石でもある。身に着けるほど持ち主とパワーが同調し色も変化していく家族のような石。

【花、植物】

アネモネ(赤):花言葉:君を愛す



ローマでは「ヴィーナスの花」といい、ギリシャ神話ではアフロディーテのシンボルであり、愛の象徴。愛の女神ヴィーナスが、イノシシ狩りで負傷し死んでしまった美少年アドニスに神々の酒を振りまくと血が泡立ちアネモネが生まれたという伝説もあり。

※アネモネ(紫):花言葉:あなたを信じて待つ

アーモンド:意味:真心の愛。



愛が詰まったタネというだけでなく、女性に嬉しい栄養が沢山！抗酸化作用・アンチエイジングのビタミン E、善玉コレステロールを増やし血液サラサラになるオレイン酸・リノール酸、カルシウム・鉄・リン・カリウム・マグネシウム・亜鉛などの豊富なミネラル、AGEsの排出、代謝アップの不飽和脂肪酸などが含まれます。一日 20 粒で必要な栄養が取れ、カロリーは約 120kcal 程度♪

無花果(いちじく):果物言葉:豊富、安産。



不老長寿の果物と言われ、食物繊維(ペクチンによる)便秘解消効果、抗酸化物質(ポリフェノール、アントシアニン)によるアンチエイジング効果、エストロゲン様物質による更年期障害対策、ベストアルデヒドによるガン予防効果、酵素による消化促進効果があるアルカリ性の植物。様々な伝説があり、アダムとイブはいちじくの葉を身に着けていたとされる。豊かさと美を与えてくれるフルーツ！

ガーベラ:花言葉(赤)燃える愛、前進、チャレンジ



(ピンク) 熱愛、崇高な美しさ

(黄) 究極の美、究極の愛

桔梗(ききょう):花言葉:変わらぬ愛、気品



夏から秋にかけて山野に自生し、根は漢方になる。『万葉集』の秋の七草のアサガオは桔梗のことだと考えられている。昔から愛されてきた花であり、花言葉もキキョウの姿と同じく慎み深く上品です。

サボテン:花言葉:熱情、秘めた熱意、燃える心、枯れない愛



名前は 16 世紀にサボテンの樹液を石鹼(シャボン)として使用していたことに由来しているとされる。乾燥に強いが根腐れしないよう水をあげすぎないようにする。砂漠や海岸に育つサボテン。花も咲きます。

しょうが:意味:あなたを信頼します、慕われる愛、豊かさ



成分であるジンゲロールの血行促進、殺菌作用、免疫アップ、ショウガオール^①の脂肪・糖質燃焼効果、消化吸収能力アップ、抗酸化作用、CGRP(カルシトニン遺伝子関連ペプチド)の血行促進作用により体を温める働きがある。:生ショウガは解熱作用があるため、体を温めたい場合は 100 度以下で温めて！一日 10g が目安です(妊婦、乳幼児、胃腸が弱い方は食べない)。

チューリップ:花言葉:(赤)愛の告白



(ピンク)愛の芽生え、誠実な愛、幸福、思いやり

(紫)不滅の愛、永遠の愛情

トルコやペルシャ、ギリシャ神話などに逸話がある花。アンデルセン童話の親指姫が生まれたのもチューリップ。オランダの伝説では「王冠」「剣」「財産」の 3 人の騎士からプロポーズをされた女性が断られる 2 人を思いやって決められず、花の女神にチューリップに変身させてもらい、3 人に育てられたそうです。

ニシン:魚言葉:子宝



数の子はニシンの卵。「二親」とも呼ばれ一腹に卵の数が5万~10万個あることから子宝、子孫繁栄、豊かさの象徴。EPA、DHAを多く含み、コレステロール低下、脳の働きをよくするだけでなく、骨粗しょう症の予防となるカルシウム、貧血予防の鉄分を含む。象徴的意味だけでなく、栄養も女性に◎。

バラ:花言葉:愛、美、輝かしい、愛嬌、斬新、アイラブユー、気まぐれな美しさ



(赤) 情熱、あなたを愛しています、貞節、美

(ピンク) 愛を誓う、上品、温かい心

(白) 私はあなたにふさわしい



(ベージュ) 成熟した愛

(オレンジ) 魅惑、信頼、恋愛の達人、絆、すこやか、愛嬌

古代ギリシャ・ローマでは愛の女神アフロディーテ(ヴィーナス)と関連付けられるなど愛と美の象徴とされる。色や本数によって意味があるのは西洋の貴族社会で恋人同士の暗号として使われたため。クレオパトラやナポレオンの妻がバラを好んだり、中世ヨーロッパでは人々を惑わすものとして教会でタブーとされたり伝説の多い花。ローズの精油はオイルの中でも最も波動が高いとされている。

パンジー:花言葉:純愛、心の平和、思慮深さ



19世紀にイギリスでスミレを掛け合わせてできた。日本には江戸時代末期にもたらされた。シェークスピアの真夏の夜の夢にパンジーの汁を目に垂らすと、目覚めて最初に見た男性を好きになるという話があるため、パンジーの花を身に着けていると異性から愛されると言われる。

マーガレット:花言葉:心に秘めた愛、真実の愛、信頼、貞節



あの人は私のことが「好き」、「嫌い」、と花びらの恋占いといえばマーガレット。ギリシャ神話の狩猟・貞潔・出産の守護の女神・アルテミスに捧げられる花でもある。花言葉から結婚式のブーケに使われることも多い。マーガレットの恋占いの結果は五分五分かと思いきや、花びらの多くは奇数なのだそうです！いい知

マジョラム(スイート):幸福の象徴



古代ギリシャでは他界した魂を送ったり、結婚した夫婦の愛を祈って頭に飾ったり、恋愛成就のお守りにも使われる幸福の象徴。心身のバランスをとるため、不安や落ち込み、孤独感、女性ホルモンバランスの乱れ、冷え、筋肉のこりや痛み、動悸や咳、過剰な食欲の改善によいとされる。副交感神経に働きかけて自律神経を整えます。精油はスパイシーで温かい香りです♪

わすれな草:花言葉:真実の愛、私を忘れないで



ヨーロッパ原産。騎士ルドルフがドナウ川に咲くわすれな草を恋人ベルタに贈ろうとしたのだが、誤って川に転落し巻き込まれてしまった。その時にルドルフはベルタに花を投げながら「私を忘れないで」という言葉を残した。ベルタはその言葉を忘れず生涯花を髪に飾り続けた。

【精油】(※ヤングリヴィング社のグレード A のオイルです)

イランイラン:恋愛、女性性開花



「花の中の花」という意味を持つ花。甘くセクシーな芳香でインドネシアでは新婚所やのベッドにイランイランを散らす習慣がある。香りが好みであれば幸福で満たされる感じ、リラックス感を与えてくれる。オイルは肌・毛髪ケアにも使える。オレンジやレモンなど柑橘系とブレンドして使うのも良。育乳・女性性の開花においても効果的なオイル♪

YL ジョイ:女性性・恋愛



喜びという名の精油で、イランイラン、ベルガモット、ローズ、ゼラニウム、レモン、コリアンダー、タンジェリン、ジャスミン、カモミールローマン、パルマローザのブレンドオイル。:軽やかな元気さと女性らしさを与えてくれます。軽い香水にもなり、女性らしさアップしたいときに数滴手首や首筋、胸元に塗ると心地いいです♪

ジャスミン:愛情、子宮



気持ちをやわらげ、五感六感を開花し官能を呼び覚ます。子宮のハーブとも言われ、生殖器官の治療や難産の際の分娩促進、生殖機能を高める目的で使用されてきた。PMS にも。体を温めてくれます。

ローズ:女性性開花→【花・植物】のバラ参照

オレンジ・レモン・グレープフルーツなどの柑橘系:愛され感



ビタミンたっぷりの柑橘系。そのオイルは愛され感をアップしてくれます。食品添加物扱いのオイルも多いので塗布だけでなく飲み物や食べ物に加えて摂取できます。

【シンボル・象徴】

金星(Venus):意味:愛情と和合、所有と保存



バビロアの天の女王イシュタルが愛した羊飼いのタンムズの死を悲しみ冥府へ。冥府の女王に嫉妬され危機に陥るが、最終的には二人とも生還する逸話がある。ギリシャ神話の美と愛の女神アフロディーテのほか、上流階級や美男美女、エナメル、絹、レースなど美や愛、豊かさに関連する。

月:意味・象徴:母性、無意識、知恵、慈愛、包容力、癒し



女性の月経周期が月の満ち欠けの約 29.5 日と一致していること、妊娠期間が月の満ち欠けの周期の9倍の長さであることなど、女性との関連も多い。新月満月はお産が増えると言われる。月は満ち欠けがあり変化することから不安定ともされますが、うまく波に乗ることでデトックスと再生にもなります。月光浴で月と自分自身の身体のリズムを調和させるのもいいですね

虹:象徴的意味:「取り組んでいることがすべて成功する」



「これから新しいステージに行くことになり、いいことがあるから大丈夫」という幸運のサイン。また、虹の光には浄化やアンバランスな心身を整えるパワーがある。夜に月の光を受けて浮かび上がるナイトレインボー(ムーンボー)は最高の祝福のしるしとされている。部屋にサンキャッチャーをつるして虹の光をお部屋に取り込むのも◎。

赤色:生命のパワー、エネルギー、興奮と関連した色



パワー、幸せ、喜び、愛情、五感、血液の循環、交感神経の活動を高めることが出来るとされる。鳥居などに魔除けや朱雀を意味する色としても利用される。チャクラでいうと第一チャクラと関連がある。強すぎると男性性が増幅するので分量に注意するとよい。

ハート:



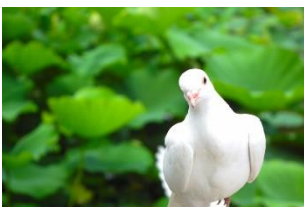
愛のシンボルとして代表的。古代エジプト人はハートはすべての意識の中心であり、生命そのものの核であると考え、最高のものという意味もあった。一般的には心臓を表したものとされているが、女性の臀部や胸の輪郭、陰部などを表現したものだとする説もあり。トランプのハートはもともとカップ(=タロットでは感情を意味する)だった。

りんご:愛、ビーナスの象徴



アダムとイブが食べた「知恵の実」が翻訳の際に「リンゴ」になったことから原罪の象徴とも。古代ギリシャではリンゴは愛と美の女神アフロディーテにささげられた物であり、求婚、結婚の儀式や慣習の上で重要だった。縦に割ると女性器に似ていることから女性性の象徴とされることも。

鳩:愛と平和の象徴



ギリシャ神話においてハトは愛と美の女神アフロディーテが使う鳥とされていた。またハトは死ぬまでつがいであることから忠実な愛の象徴ともされる。旧約聖書において洪水が起きた時にハトがオリーブの葉を咥えて飛んできたことで洪水の終焉を迎えたことから平和の象徴とされた。

バラ →【花・植物】のバラを参照

リボン:良縁の象徴



人と人を結びつけるという意味が込められている。結婚式にもリボンのモチーフが使用されるのは、縁を呼び込むことでパートナーや家族、友人との結びつきや絆を深めることを意味しています。古代ギリシャの結婚指輪も本結びのモチーフで固い絆を現した。

ピンク色:満たされ感アップ、女性の柔らかさをアップする色



攻撃性を抑制し、心身ともに満たされた状態にしてくれる色。女性ホルモンの分泌を促進し、美と健康を手に入れる手助けをしてくれると言われている。第 2 第 4 チャクラと関連が深い色。